

こんな活動もしています

▼親子ハイキング

西野地区では、6月13日、西野地区青少年育成委員会主催、地元4郵便局の共催、西野、昭和の高連合町内会などの後援で、33回目となる親子ハイキングが行われました。約200人の住民が参加し、自然の中で、初夏の一日を楽しみました。

小学生と三角山登山

6月19日、山の手第31町内会と、山の手小学校の「子供すくすく育み隊」の児童とが合同で、三角山登山を行いました。三角山の自然に触れ、ゲームなどを楽しみながら、世代間交流を深めました。

親子で楽しむ体育大会

毎年八月末ごろ、二十四軒東地区では親子で参加できる体育大会が開催されます。昨年は住民約400人が参加し、二十四軒小学校のグラウンドで、かけっこや綱引きなどの競技が行われました。

ふれあい雪ん子まつり

2月15日、西園小学校グラウンドで開催された第20回西町地区「ふれあい雪ん子まつり」。雪の中、みかん拾いや玉入れなどで熱戦を繰り広げ、終了後は温かい豚汁が振る舞われました。

琴似

フラワーポット設置前



設置後



こんなにすっきりしました

地元商店街などとの協力で、廃止された路上駐輪場跡に設置したフラワーポット。乱雑に自転車が置かれ歩きにくかった歩道が、見違えるように、快適な空間に生まれ変わりました。



ひらがくにゆき 平賀邦行さん

あなたのまちのこんな活動こんな人

琴似地区では、現在至るところで美しい花々を目にすることができず。五月二十六日に、琴似連合町内会と地元商店街、区役所が合同で、琴似栄町通の路上駐輪場跡にフラワーポットを設置。六月四日には、町内会の皆さんの手で、琴似栄町通や川添通の街路花壇、発寒河畔公園の市民憲章花壇に花が植えられました。そんな琴似地区の連合町内会総務部長を務めるのが、平賀邦行さんです。「花を植える活動もそうですが、町

内会活動は基本的にボランティア。参加する皆さんがやりがいや生きがいを感じてくれれば素晴らしいですね」と話す平賀さん。「総務部は町内会活動のさまざまな分野にかかわります。まず、しっかりとした組織をつくって動かしていくことが大切です。また、花植えも含め環境対策を強化継続するほか、今年の琴似地区の課題は高齢者福祉の問題と考えています。琴似地区はまだ日常の支援活動が充実していないと感じますね」。

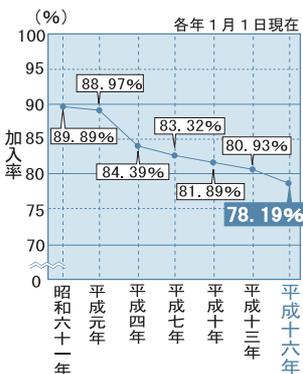
そのため、今年度からは琴似地区の各町内会長などで構成する理事会の回数を増やし、琴似地区の高齢者福祉への取り組みを強化する予定といます。「ある町内会で先進的な活動をしていけば、周りの町内会にも影響し、徐々に地域全体の活動レベルが底上げされます。まずは熱心に取り組んでいる町内会を見本に、それが地域全体に広がれば」とこれからの町内会活動のあり方について力強く語ってくれました。

6月4日、みんなで植えた市民憲章花壇の花の前で、記念写真をパチリ。琴似川添東町内会の皆さんは、発寒河畔公園にあるこの花壇の管理を約二十年も続けています。

5月7日、琴似屯田兵村兵屋跡で行われた春の鍬入れ種蒔式

6月4日、琴似連合町内会女性部が行った街路花壇の花植え。

西区の年次別町内会加入状況



都市化や核家族化が進み、地域のつながりが希薄だといわれる現在「町内会に入らなくても特に困らない」「干渉されたくない」などの理由から、町内会への加入者は年々減ってきています。

確かに、日常生活の中では、加入してはいけないことによる不便をあまり感じないかもしれませんが、しかし、本当にそうなのでしょうか。今月号で紹介したとおり、町内会の活動は私たちの生活に密接にかかわるとも幅広いものです。地域の中のちよつとした助け合いが、わたしたちの快適な生活を陰で支えているのです。災害時や、高齢で身体が不自由になったとき、あなたには身近に助け合う仲間頼れる人はいますか。安心して暮らすことのできる、住みよいまちにするために、まずは最も身近なコミュニティ「町内会」の活動に、気軽に参加してみませんか。

